

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

この度、取締役会の実効性評価を実施いたしましたので、その結果の概要を公表いたします。

1. 評価の方法

取締役会の実効性に関する質問票をすべての取締役および監査役に配付し、回答を得ました。取締役および監査役の回答を踏まえ、取締役会は取締役会の実効性に関する分析および自己評価を行い、その結果を審議いたしました。

(1) 対象者

取締役、監査役 合計 12 名

(2) 方法・内容

実施時期:2022年3月末~4月上旬

回答方法:5段階評価+フリーコメント/記名式アンケート

評価項目:

- ① 取締役会の全体評価について
- ② 取締役会の構成について
- ③ 取締役会の運営について
- ④ 取締役会の議論の質について
- ⑤ 情報提供・トレーニングについて
- ⑥ 株主・投資家との対話について

2. 分析・評価結果の概要

アンケートの結果、取締役会の実効性が高いレベルで維持されており、取締役会において本質的な議論が行われていることが確認されました。当社取締役会の役割に鑑み、以下の観点から、取締役会全体としての実効性が高い状態で維持されていると判断いたします。

- ・各種説明会、役員研究会の実施等、社外取締役および監査役に対する十分な支援によって、取締役・監査役が経験や専門性を活かし、建設的な議論がなされている。
- ・企業価値向上に向け、グループ戦略、グループ業績の向上に関する議論が活発になされ

ている。

一方、取締役会の実効性を高め、企業価値を向上し続けるために、以下の項目をさらに取り組むべき課題と確認しました。

- ・事業ポートフォリオの在り方、経営資源の配分に関する継続的議論
- ・ESG・サステナビリティへの取り組みに関する議論
- ・ダイバーシティ&インクルージョン強化に関する議論
- ・具体的な現場の実態を踏まえた議論を行うための各事業について理解する機会の提供

3. 評価の結果を踏まえた今後の対応

今回のアンケートの結果を踏まえ、グループのあるべきガバナンスについて取締役、監査役全員で議論した結果、2022年度は、以下の項目に重点的に取り組むことを確認しました。

- ① 役員研究会の活用、並びに状況に応じ役員合宿を開催することにより、グループ全体での事業ポートフォリオの在り方、経営資源の配分に関して、必要情報を整理の上、引き続き議論を深化させる
- ② サステナビリティ・ESG推進委員会における検討結果を踏まえ、取締役会におけるESG・サステナビリティに関する議論を深化させる
- ③ 指名報酬委員会におけるダイバーシティ&インクルージョンに関する議論の内容につき、取締役会において報告及び議論を行う
- ④ オンラインによる各種社内行事への参加、現場視察の再開、事業現場関係者との交流会等を通じた事業理解の促進

当社は、以上の取り組みを行うことにより、引き続き、取締役会の実効性向上、コーポレートガバナンスの強化に努めてまいります。

<参考> 前回アンケートおよびインタビューの結果に対する取り組み

2021年度は、前回アンケートおよびインタビューの結果から、以下の項目に重点的に取り組むことを取締役会で確認し、取締役会の議論の質の向上と、実効性の向上に努めてまいりました。

① 中期経営計画のモニタリング

- ・事業ポートフォリオの在り方、経営資源の配分に関する継続的議論

② 指名・報酬に関する議論

- ・代表取締役の選解任基準、評価方法(短期目標、中期目標)
- ・代表取締役後継者育成計画と幹部人材育成、および報酬設計

③ ESG・サステナビリティに関する議論

④ ダイバーシティ&インクルージョン強化に関する議論

⑤ 株主・投資家との対話の拡充と経営へのフィードバック強化

⑥ 上記議論を可能にするための取締役会議案精選による、議論時間の拡大。

事前説明会、役員研究会、各種イベントの参加を通じた取締役会メンバーの対話機会の拡充による、自由闊達な議論の促進。

以上の取り組みの結果、取締役会で質の高い議論が行われました。引き続き企業価値向上のため、これらの議論を継続してまいります。

以上